

Marpが^でできること

岩島楓也(IWASHIMA Fuya)

2025,02,01

もともとbeamerだった

Latexのbeamerでスライドを作っていたが不具合がおきた．

- Latexがスライドに不向きなこと．
- 画像の調整がめんどくさいこと．
- コンパイルしないとレイアウトが確認できないこと．

スライド作成ではレイアウト調整にできるだけ時間を割きたくない．
しかし，beamerを使用するとかなり無駄な時間ができてしまう．

contents

1. スライド作成ツールに求めること
2. 環境構築
3. markdown
4. CSS
5. 自作スタイル
6. 画像の挿入

スライド作成ツールに求めること

そこで新たなスライド作成ツールを探し始めた．

- オフラインで使えること
- コンパイルがいないこと
- WYSIWYGではないこと
- レイアウトの自由度が高いこと

Marpにした

Marpの強み

- Markdown記法が使える
- cssでレイアウトを整えられる
- pdfに出力可能
- コンパイルしなくてもレイアウトの確認が可能



contents

1. スライド作成ツールに求めること
2. **環境構築**
3. markdown
4. CSS
5. 自作スタイル
6. 画像の挿入

環境構築

1. Marpをダウンロード

```
$ cd /tmp  
$ curl https://github.com/marp-team/marp-cli/releases/download/v4.1.1/marp-cli-v4.1.1-linux.tar.gz  
$ tar xvfz marp-cli-v4.1.1-linux.tar.gz
```

2. パスを通す

```
$ cp marp /usr/local/bin/
```

3. 実行確認

```
$ marp -v
```

実行環境

項目	バージョン
Ubuntu	22.04.3 LTS
marp-cli	4.1.1

コンパイル

リポジトリをクローン

```
$ git clone git@github.com:Fuuya1102668/dotfiles.git  
$ cd dotfiles/markdown
```

pdfにコンパイル

```
$ marp slide.md --pdf --theme-set ./styles/base.css
```

サーバモードで起動

```
$ marp -s . --theme-set ./styles/base.css
```

ファイル構成

```
├── figs/  
│   └── marp.png  
├── slide.md  
├── slide.pdf  
└── styles/  
    ├── base.css  
    └── gaia.scss
```

- サーバモードで起動し， `localhost:8080` にアクセスするとコンパイルしなくてもレイアウトを確認できる。
- 環境変数 `PORT` を変更することでアクセスポートを変えられる。
- サーバアドレスは変更できないそう。

contents

1. スライド作成ツールに求めること
2. 環境構築
3. **markdown**
4. CSS
5. 自作スタイル
6. 画像の挿入

markdown

markdown記法を用いて記述する.

- 箇条書き
- 表
- コードブロック
- 画像

日本語	English
こんにちは	Hello
世界	World

```
print("Hello World")
```



contents

1. スライド作成ツールに求めること
2. 環境構築
3. markdown
4. **CSS**
5. 自作スタイル
6. 画像の挿入

CSS

レイアウトはCSSで記述する．

デフォルトの `gaia` をもとに，いくつかレイアウトを作成した．

- `lead`
- `contents`
- `witht`
- `split32`

contents

1. スライド作成ツールに求めること
2. 環境構築
3. markdown
4. CSS
5. **自作スタイル**
6. 画像の挿入

lead

名字名前(MYOUJI Namae)
yyyy/mm/dd

leadの記述

h1(#)にスライド全体のタイトルを書く。

h2(##)に作者と日付を書く。

作者と日付は
 で改行するとよい。

```
# lead
<!-- _class: lead -->
## 名字名前(MYOUJI Nae)<br>yyyy/mm/dd
</div>
```

contents

1. ここに目次を
2. 書くとよい
3. **ボールドで**
4. 現在のスライドを示す

contentsの記述

--- をいれて明示的に改ページする.

<div class=title> は ## contents が入り,
content はスライドによって変更し, 次のスライドはボード.

```
---
<!-- _class: contents -->
<div class=title>

## contents
</div>

<div class=content>

1. ここに目次を
1. 書くと良い
1. **ボードで**
1. 現在のスライドを示す
</div>
```

witht

`<!-- _class: witht -->` は垂直方向に中央揃えでコンテンツを配置する。
`<div class=text>` を作成し，その中にスライドの内容を記述する。

`<div>` のすぐ下に記述すると，markdown記法が反映されないので注意したい。

```
# witht
<!-- _class: witht -->

<div class=text>

`<!-- _class: witht -->`は垂直方向に中央揃えでコンテンツを配置するためのクラスである。
`<div class=text>`を作成し，その中にスライドの内容を記述する。

`<div>`のすぐ下に記述すると，markdown記法が反映されないので注意したい。
</div>
```

split32

画面を縦に3:2で分割し、
左右にコンテンツを展開する。

主に左側にはテキストを書く。

- `<div class=left>` に左側のコンテンツ
- `<div class=right>` に右側のコンテンツ
right の文字はフォントサイズが20pxになる。

主に右側には画像やコードを書く。

```
# split32
<!-- _class: split32 -->
<div class=left>
```

画面を縦に3:2で分割し、
左右にコンテンツを展開する。

主に左側にはテキストを書く。
</div>

```
<div class=right>
```

主に右側には画像を置く。
</div>

contents

1. スライド作成ツールに求めること
2. 環境構築
3. markdown
4. CSS
5. 自作スタイル
6. **画像の挿入**

画像の挿入

画像の挿入はmarkdownで記法できる.

! [画像の説明] (ファイルパス)



[] にはフィルターを指定することができる.

フィルター	効果
blur	
brightness	
contrast	
drop-shadow	
grayscale	
hue-rotate	
invert	
opacity	
saturate	
sepia	
bg cover	

blur



```
![blur width:500px](./figs/Ticon.png)
```

brightness



`![brightness width:500px](../figs/Ticon.png)`

contrast



![contrast width:500px](../figs/Ticon.png)

drop-shadow



`![drop-shadow width:500px](./figs/Ticon.png)`

grayscale



`![grayscale width:500px](../figs/Ticon.png)`

hue-rotate



```
![hue-rotate width:500px](./figs/Ticon.png)
```

invert



```
![invert width:500px](./figs/Ticon.png)
```

opacity



`![opacity width:500px](./figs/Ticon.png)`

saturate



`![saturate width:500px](./figs/Ticon.png)`

sepia



![sepia width:500px](../figs/Ticon.png)

bg

```
![bg](../figs/Ticon.png)
```


bg 横並び

```
![bg](./figs/Ticon.png)  
![bg](./figs/Ticon.png)  
![bg](./figs/Ticon.png)
```

bg 縦並び

```
![bg vertical](./figs/Ticon.png)  
![bg](./figs/Ticon.png)  
![bg](./figs/Ticon.png)
```

bg 右

```
![bg right](./figs/Ticon.png)
```



bg 左

```
![bg left](./figs/Ticon.png)
```

